

善養寺便り

第八号

平成二十八年一月号 発行 善養寺

一月のことば
子ども叱るな 来た道だもの
年寄り笑うな 行く道だもの

謹賀新年

あけましておめでとうございます。
平成二十八年、二〇十六年になりました。六十年代、七十年代は二十一世紀という言葉にあこがれと希望を抱いたものでしたが、二十一世紀に入り早くも十五年が経ち、世界は益々混沌とし、緊張感も増しています。「歴史は繰り返す」という言葉がありますが、人類は過去から何を学ぶのでしょうか。ともかく、一年一年どうか平和であるようにと念じるばかりです。

さて、今年も善養寺は「元旦会」でスタートしました。今年は殊の外暖かい元日でした。そして今年も善養寺コ



善知識とは、本来は人を仏道に導く優れた高僧のことですが、良き先生や先輩や友人でもよいでしょう。優れた先生に出会うことも、また人に仏道を説くことも難しい。そして、一生懸命聞くことも信じることも難しいというのです。「教えることが難しい」とは、教えを正しく伝えていくことの難しさであり、「よく聞く」とは教えを正しく聞くことが難しいというのです。私たちはやはり自分の都合のいいように聞きがちです。何も仏法だけではありません。常日頃から、私たちは自分が聞きたいことを選んで聞いているのです。「忠言耳に逆らう」といいますね。

玉木先生がお話されましたが、親鸞聖人にとって現実の善知識は間違いなく法然上人でありました。「歎異抄」の有名な言葉に「たとい法然上人にすかさされまいらせて(だまされもうして)、念仏して地獄におちたりとも、さらに(決して)後悔すべからずそうろう。」とあるように、親鸞聖人は得難い善知識に遇うことで、ご自身の信仰に確信を得られたのでした。

私はこれまで、会い難き善知識に遇っていないながら学ぶ姿勢が足りなかつたり、出会ったことに気づくことさえなかつたことが少なからずあったように思います。善知識に遇っていても、受け取る側に学ぼうとか遇おうという意識がなければ当然「あふことはかたし」となります。誰しも人生で様々な出会いや別れがあります。年を重ねて、今更善知識に出会えるのかと思うかもしれません。しかし、善知識はあなたのそばにいます。お聖しんじゆ 教も善知識です。お聴聞は善知識に出会う絶好の場でしょう。そして、お念仏そのものも善知識といえるかもしれません。

さて、最後に今回のご法話で、本願寺前ご門主大谷光真様の文章の一節が紹介されましたので、やや長いですがここに掲載

ーラスの指導者である伊藤典芳さんに新年を祝いメゾソプラノの美しい歌声を披露していただきました。

(曲目)「レイズ・ミー・アップ」

「明日という日が」

「365日の紙飛行機」(朝ドラ主題歌)

◆二十六年報恩講法要

昨年十一月一日(日)二日(月)に報恩講法要を厳修しました。多くの方にお参りいただき、役員の皆さま、年番の方には三日間にわたりお齋の調理から接待まで大変お世話になりました。お齋は例年通り大変おしく皆さんに喜んで召し上がっていたきました。皆さまに改めて御礼申し上げます。

ご法話の講師は龍谷大学教授の玉木興慈先生でした。柔らかくにごやかに、プリントをもとに大変わかりやすくお話をしていたいただきました。先生のプリントから少し紹介します。

ご法話讀題

「善知識にあふことも をしふることでもまたかたし」

よくきくこともかたければ

信ずることもなほかたし」

(優れた高僧に出会うことも

教えることもまた難しい

一生懸命聞くことも難しいし

信じることもいっそう難しい

(親鸞聖人「浄土和讃」より



します。

「愚の力」大谷光真著(文春文庫)より

私が若い頃、お説教の席などで「そのままのお救い」という言葉をよく聞きました。不思議な理解し難い表現だと感じることがあります。教義としては阿弥陀如来の「そのままのお救い」は間違っていないのですが、私が違和感をもったのは、「そのまま」でいいなら、自己反省は必要ないのか、という点でした。

現代人に対して、この表現は非常に危ういと思ったのです。・・・少し考えればわかることですが、阿弥陀如来が救うといわれるのは、私がこのままではいけないから救ってくださるのです。私の側が「このままでいいのですよ」との姿勢であったならば、救いも何もいりません。阿弥陀如来が救わずにいられないのは、今のままのあなたがほうっておけないからです。つまり大変に心配いただいている状態にあるという前提です。



報恩講のお齋の様子
今年のお齋係の皆さんと

◆京都女子大学

女声合唱団

善養寺演奏会

平成二十八年二月十三日(土)

午後一時半開演 三時終了

善養寺本堂 入場無料

当日は音楽礼拝のあと、仏教讃歌や唱歌などの女声合唱曲を歌います。冬のひと時「癒やしのハーモニー」の女声合唱をお楽しみください。

出来るだけ多くの方に聴いていただきたいと思っております。善養寺のご門徒以外の方も誘って聴きにきてください。

善養寺ホームページに京女女声コーラスの最新ステージの模様を載せております。合わせてご覧ください。

是非、ぜひ、お越しく下さい!!!



本願寺第二十五代専如門主伝灯奉告法要

二〇一七年左記の日程で、「本願寺第二十五代専如門主伝灯奉告法要」に参拝します。是非一緒に参りしましょう。善養寺としましては

平成二十九年(二〇一七年)三月十一日は「三十名」、

同 四月十四日は「二十名」を募集しますので、

参拝をご希望される方はお寺までお申し出ください。

日程(予定)

集合 姫路駅南 午前九時発

昼食 本願寺近郊のホテルにて「ランチバイキング」

法要 午後二時〜四時

その後、本願寺周辺散策

姫路駅帰着 午後七時頃

参加費 一万円(バス代、昼食、ご懇志含む)

・大型バスに分乗し、西本願寺日帰り参拝

◆「すみれの会」より

十二月九日日本最後の行事「遠足」を行いました。お寺から皆で晩秋の風景を楽しみながらゆつくり歩き、途中小利木町「侘び助」でランチをしました。鶏料理と手作りのプリンがとてもおいしかったです。座席は掘りごたつ式になっています。その後、「好古園」に行き、まだまだ美しい紅葉の庭で楽しい時間を過ごしました。次回は二月十日(水)に鎌田節子様(北平野台)のご指導により「ひな人形作り」をします。どうぞ参加ください。尚、各々用意していただく材料がたくさんありますので、お早めにお問い合わせください。

◆姫路中組より

姫路中組「戦後七十年記念行事」

のご案内

日時 平成二十八年三月十六日(水)

午前十時より

〈光源寺〉にて戦没者追悼法要

午後一時〜四時

〈姫路市民会館〉にて

演劇「特攻の母 マザー」を演じた

元全日本女子バレー選手

大林素子さんの平和メッセージ講演会

アトラクションとして、姫路在住のシャンソン歌手

山田直毅さんの歌もあります。

いずれも入場無料です。なお、光源寺での法要に参拝された方にはお弁当をお出しします。お食事後、姫路市民会館までご移動ください。

お忙しい折ですが、是非足をお運びください。

※参加可能の方はお寺までお知らせください。午後の部は「整理券」が必要になる予定です。

※いずれも車でお越しの場合は、恐れ入りますが近隣の有料駐車場にお停めください。

◆平成二十八年予定

二月十三日(土) 午後1時半〜

「京都女子大学女声合唱団善養寺演奏会」

三月九日(水)

「第五回仏教講演会」講師 安方哲爾先生(貝塚市)

三月十六日(水)「姫路中組戦後七十年記念法要、講演会」

十時 光源寺 十三時 姫路市民会館

四月二十一日(木) 二十二日(金)

「永代経法要」講師 野村康治先生(大阪市)

五月二十七日(金)

「仏教婦人会總會並びに第一回仏教講演会」

講師 藤澤めぐみ先生(京都市)

七月十二日(火)

「第二回仏教講演会」講師 谷川弘顕先生(神戸市)

九月 講演会未定(講演会プラスアルファを計画中)

十一月一日(火) 二日(水)

「報恩講法要」講師 深 英俊先生(京都市)

十二月十三日(火)

「第三回仏教講演会」講師 谷川弘顕先生

二十八年の法座はおなじみの谷川先生ほか善養寺初登場の先生が三人もいらっやいます。どうか皆さん、お聴聞という得難いこの貴重な機会に一人でも多くの方にお参りいただきたいと思ひます。特に男性の方、是非とも遠慮なくお越しく下さい。